

創部初の快挙! 3位入賞

優秀選手賞に前空



初の3位入賞を遂げた柔道部員たち

東京学生柔道優勝大会(6月6日、文京区・講道館)で、1932年の創部以来、初の快挙達成。強豪ひしめく東京学生柔道連盟に所属する上位16校によるトーナメント戦で、柔道部が3位入賞を果たした。

個人では、前空秀明(法4・近大附島高福山校)が優秀選手賞に選ばれた。

コロナ禍で2年ぶりに開催された今大会。専大は2回戦で、一昨年の東京ベスト8・帝京科学大に4-1で快勝。準決勝に敗れたものの、選手たちは日々の稽古の成果を十二分に発揮した。

続く全日本学生柔道優勝大会(6月26~27日)では、ベスト8入りを目指す。

専大スポーツ

【専大スポーツ】https://www.senshu-u.ac.jp/sports/

No. 419

専大スポーツ 編集部 公式 WEB

Twitter @sensuponow Instagram sensuponow

追いつけ、追いつけ、追いつけ。原動力となった岡田大輔(人間科学4・浜松日体高)は、最優秀選手賞には1打届かなかったが、最終日の9ホール全てをアンダーパ

岡田のティショット



「基本を忠実に」という指導を受けており、基本練習を繰り返してきたことが良い結果に結びついたと述べた。

また、「チームは良い雰囲気なので、全国大学対抗戦では、主将の岡田大輔、福住修(経営1・明徳義塾高)、福住将(経営1・明徳義塾高)の4人が出場を決めている。

惜しくも2位

専大は5勝2敗3分け

4人がインカレへ

関東学生剣道選手権大会(5月19日、足立区・東京武道館)

逆転で4位 全国大学対抗戦へ

関東大学ゴルフ春季Aブロック対抗戦(5月22~23日、茨城県・サザンヤードカントリークラブ)

初日は5位と苦しんだが、最終日にスコアを伸ばして4位。全国大学ゴルフ対抗戦(6月24~25日)の出場権を得た。

このコースは、ティショットの精度が試されるうえ、例年に比べてグリーンスピードが遅かった。

また、男子グレコレス67kg級で吉永信太郎(経営4・玉名工高)、女子72kg級で小林奏音(ネット情報3・市立太田高)が4位となった。(寺田美結・文3)

日本アマに4人

日本アマチュアゴルフ選手権(6月29日~7月2日)の出場権をかけた予選会が全国で行われている。専大勢では、6月11日現在、平本世中主将、岡田大輔、福住修(経営1・明徳義塾高)、福住将(経営1・明徳義塾高)の4人が出場を決めている。

3位決定戦制す

専大は5勝2敗3分け

賞状を手に笑顔の岡本(左)と河名



無観客で開催された今大会、専大からは7人が出場した。男子グレコレス1マンスタイルの55kg級で岡本景虎(経営3・和歌山北高)が、60kg級で河名真偉斗(経済4・三)

男子Bブロック2位

関東学生アーチェリー・男女リーグ戦兼王座選考会(5月15~16日、埼玉県・はらっぱパーク宮代)

王座決定戦の2年連続出場を決めた。

大倉秀太主将(経済4・都立山崎高)は「強風などで思うようなプレーができず、非常に厳しい戦いとなった。しかし、『楽しくやる』というチーム目標の通り、リラックして接戦でも力を出すことができた。王座決定戦の出場権を得ることができ、ホッとした」と、専大らしさを発揮した部員たちに信頼を寄せた。(渡邊未来・文3)

4人がインカレへ

関東学生剣道選手権大会(5月19日、足立区・東京武道館)

男子グレコ

明治林全日本選抜レスリング選手権(5月27~30日、世田谷区・駒沢体育館)

岡本は、3位決定戦で星野工選手(札幌東豊クラブ)に8-0とテクニカルフル勝利。内容が良いものと言え、課題がたくさん見つかる試合だった。その課題をクリアできるように練習に励む」と次を見据えた。

男子Bブロック2位

関東学生アーチェリー・男女リーグ戦兼王座選考会(5月15~16日、埼玉県・はらっぱパーク宮代)

王座決定戦の2年連続出場を決めた。

大倉秀太主将(経済4・都立山崎高)は「強風などで思うようなプレーができず、非常に厳しい戦いとなった。しかし、『楽しくやる』というチーム目標の通り、リラックして接戦でも力を出すことができた。王座決定戦の出場権を得ることができ、ホッとした」と、専大らしさを発揮した部員たちに信頼を寄せた。(渡邊未来・文3)

3位決定戦制す

専大は5勝2敗3分け

4人がインカレへ

関東学生剣道選手権大会(5月19日、足立区・東京武道館)

男子グレコ

健闘 3位

55kg級・岡本 60kg級・河名

明治林全日本選抜レスリング選手権(5月27~30日、世田谷区・駒沢体育館)

岡本は、3位決定戦で星野工選手(札幌東豊クラブ)に8-0とテクニカルフル勝利。内容が良いものと言え、課題がたくさん見つかる試合だった。その課題をクリアできるように練習に励む」と次を見据えた。

河名は、OBの藤波諒太郎選手(合2文II自衛隊体育学校)との同門対決を制し、3位となった。「優勝を目指していたので、とても悔しい。攻め続けることができなかったことが敗因」と大会を振り返り、「8月の全日本学生選手権、10月の全日本大学グレコ選手権の2冠を取れるように頑張る」と決意を語った。

男子Bブロック2位 王座決定戦の出場権を獲得



奮闘した男子部員たち

E.V80競技 川口が3位



全日本ヤング総合馬術大会(5月28~30日、山梨県・山梨県馬術競技場)

E.V80競技で川口航矢(文1・近江兄弟社高)とフェアリーパウダー号のコンビが3位に入賞した。

同競技は障害の高さ制限が80センチで、馬場馬術・クロスカンツリー・障害飛越の3種目を行う。初のクロスカンツリーに挑んだ川口は「不安と緊張でいっぱいだったが、騎乗後は不安が無くなった。3位に入賞でき、うれしい」と話した。(渡邊)